

## High-performance Embedded Workshop V.4.00.00 ご使用上のお願い

--monitor\_setコマンドのパラメータの指定について--

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4.00.00の使用上の注意事項を連絡します。

- monitor\_setコマンドのパラメータ指定時の注意事項について

### 1. 該当製品

以下の製品に含まれているHigh-performance Embedded WorkshopをアップデートプログラムでアップデートしたHigh-performance Embedded Workshop V.4.00.00が該当します。

#### (1) E10A-USBエミュレータ

HS0005KCU01H

HS0005KCU02H

**注意：** New\_SH-Mobile、SH-4A、またはSH-2AデバイスグループMCUを使用する場合のみ問題が発生します。

#### (2) E6000Hエミュレータ

すべてのHigh-performance Embedded Workshop版

E6000Hエミュレータ

#### (3) E6000エミュレータ

すべてのHigh-performance Embedded Workshop版 E6000  
エミュレータ

ただし、以下の製品はオプションのバスモニタボードを接続した場合にのみ問題が発生します。

HS2195EPI60H

HS3008EPI60H

HS3644EPI60H

HS3L08EPI60H

HS388REPI60H

HS3800EPI60H

(4) E200Fエミュレータ  
R0E0200F0EMU00

High-performance Embedded Workshopのバージョンは、メニューの「ヘルプ」から「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」コマンドを選択すると確認できます。

## 2. 内容

monitor\_setコマンドで、キーワード付きでパラメータを指定する場合、refresh\_rateパラメータを省略すると、refresh\_rateパラメータの値に、正しくはD'00500（リフレッシュ時間間隔500ms）が設定されますが、間違ってD'01280（リフレッシュ時間間隔1280ms）が設定されます。

コマンドシンタックス（キーワード付きの場合）：

```
monitor_set [name <user specific monitor-window name>] [<address>]  
            [<size>] [format <format>] [type <type>]  
            [rate <refresh_rate>] [initial_value <state>]  
            [detail <user specific value according to respective  
            Target Emulator>]
```

発生例: monitor\_set name window\_a 100 10

## 3. 回避策

monitor\_setコマンドで、キーワード付きでパラメータを指定する場合は、refresh\_rateパラメータを省略しないで正しい値を指定してください。

例: monitor\_set name window\_a 100 10 rate D'500

## 4. 恒久対策

High-performance Embedded Workshopの次期バージョンアップの際に改修する予定です。

---

### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。